外国人技能実習制度の“今”を伝える

iBridge

アイブリッジ通信

NEWS iBridge NEWS iBridge NEWS iBridge
Vol.27

技能実習生 現地面接再開（8月から）

日本の入国規制緩和により入国した技能実習生は、今月（5月）から続々と実習先に飛び立っています

アイブリッジ協同組合では、結核対策として実習生が母国で行った胸部X線検査に加えて、そのX線画像を入国前に、公益財団法人結核予防会と連携し、再読影を行っています。

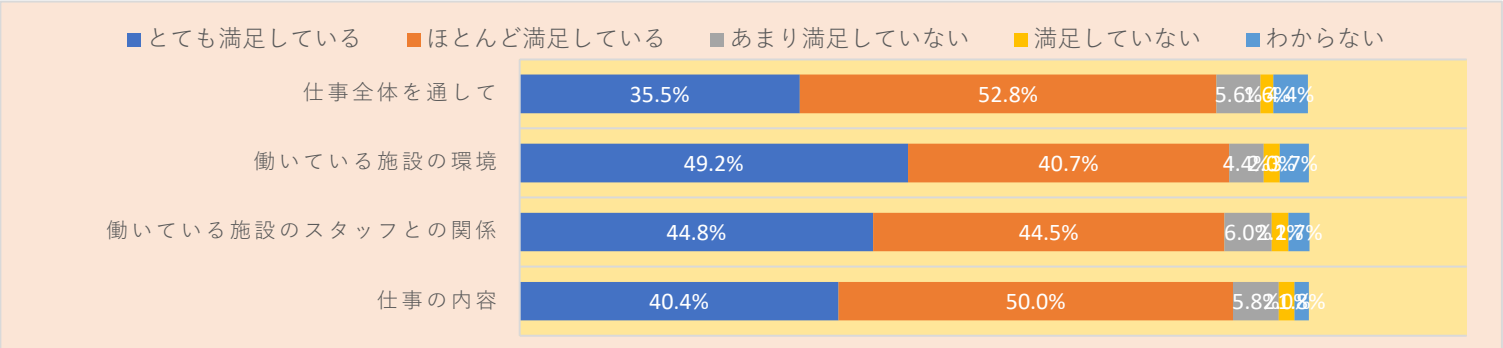
結核予防会は、国民の疾病予防と健康増進に寄与するとともに、結核研究所を中心に世界的課題である途上国の結核対策に国際的に貢献することを目的にしています。所管は、当組合の代表理事が局長を担っていた厚生労働省健康局です。

実習生の健康はもちろんのこと、施設の利用者様、職員様にも安心していただけるよう取り組んでいます。

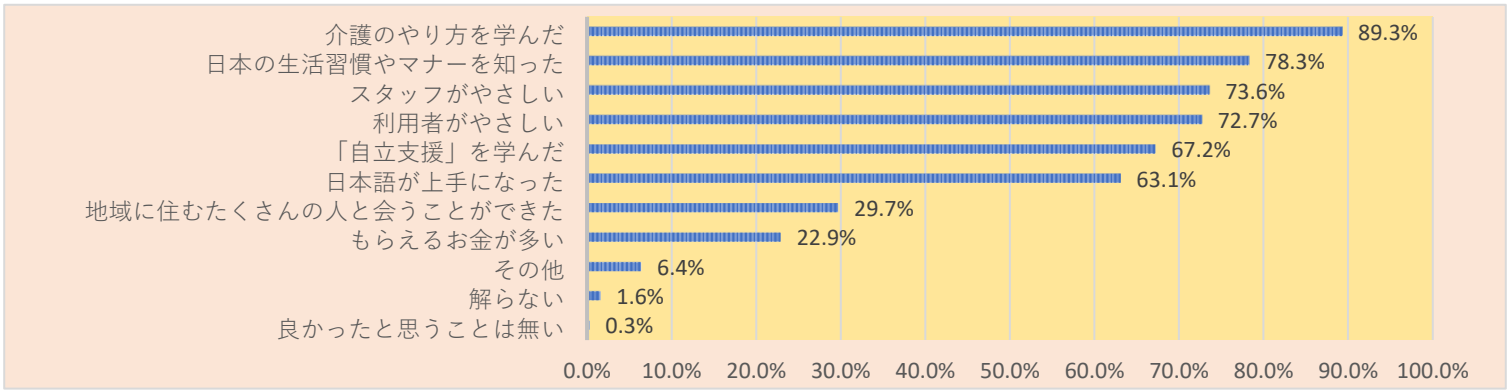
今回は、「技能実習制度の有益な活用法」についてご提案致します。

※先ず、厚生労働省による「実習生」の意識調査を覧下さい。

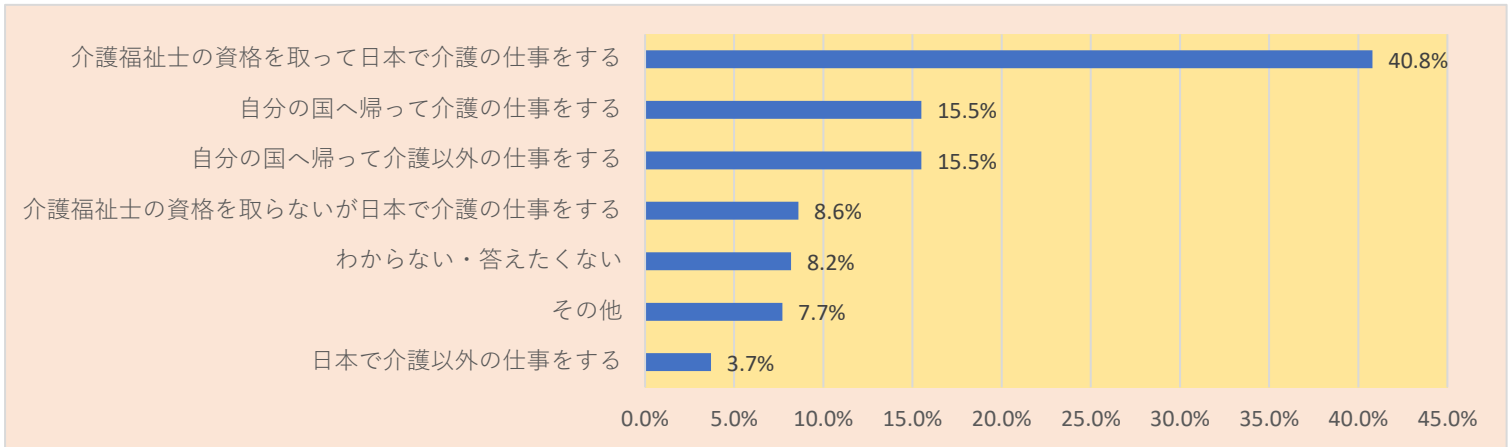
意識調査1　仕事に対する満足度（単一回答）　〈2020年度厚生労働省技能実習調査〉



意識調査　2　日本で介護の仕事をしてよかったと思う理由（複数回答）　〈2020年度厚生労働省技能実習生調査〉



意識調査　3　実習修了後の意向（単一回答）　〈2020年度厚生労働省技能実習生調査〉

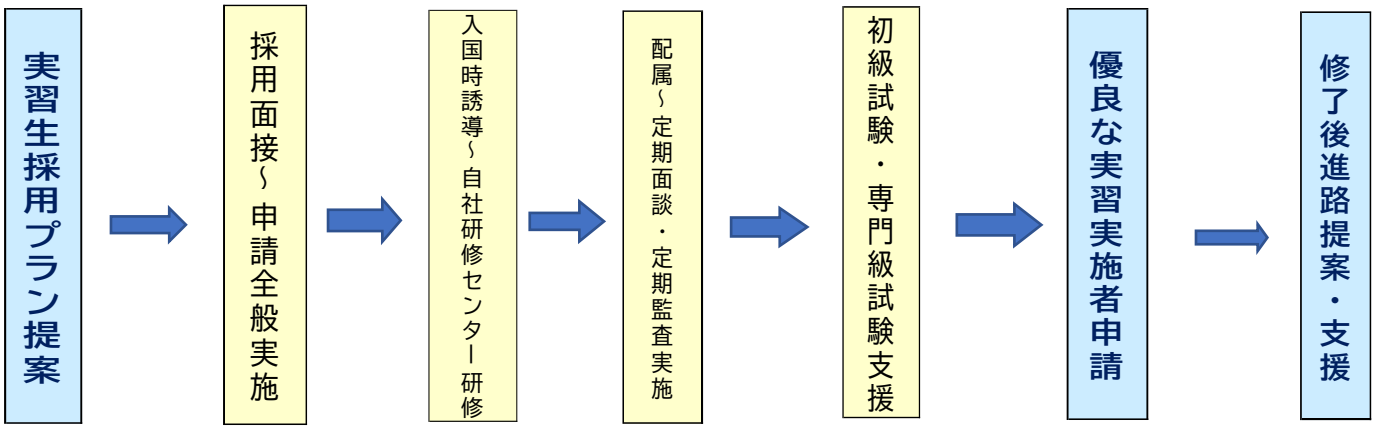


※「送出し国」によって、更に高い意識・スキルを持った人材の増加が十分に期待されます。
経済的に豊かになると高学歴で優秀な人材が海外（技術・インフラ先進国）を目指す傾向が強まります。
特に現在のミャンマーは、その現象が見られます。
その点に関連した記事が有りましたのでご紹介します。

〈日本経済新聞20221104記事抜粋　**解説：国立社会保障・人口問題研究所国際関係部長　是川　夕　氏**

かつては国際移動を引起すのは送出し国の貧困と受け入れ国の所得格差と考えられてきた。
これは、「プッシュ・プル理論」とも呼ばれ、直感的にもっともよくフィットする。
しかし、国際移民研究で最も広いコンセンサス（合意）を得つつあるのが「意欲・潜在能力理論」と呼ばれるもので、国際移動は経済発展とともにむしろ増えるとされる。所得水準の上昇などの社会発展により、人々はより豊かな生活への意欲と経済的資源などの実際の移動能力を手にすることで、国際移動を経験する者が増える。
最新の研究成果によれば、こうした傾向は1人当たり国内総生産（GDP）が7千ドルに達する位まで続く。
このように考えると、アジアの経済成長はむしろ日本への移動圧力を高める。
実際、過去30年間で中国やアジア諸国と日本と経済格差は縮まったが、この間、むしろこれらの国々からの外国人労働者の増加ベースは高まっている。

アイブリッジのフルサポート体制



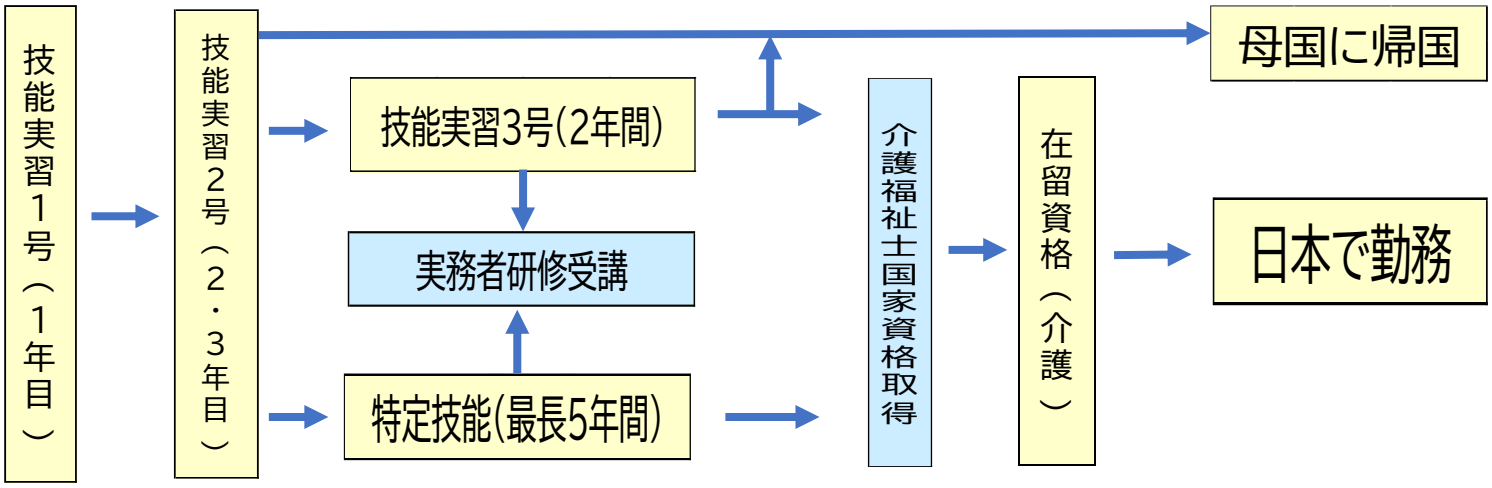
※「制度導入の計画段階」～「実習修了後の対応」までフルサポート致します。

年次別監理費内訳（単位：円）　（税別）

組合監理費	職種	内定から3ヶ月（一括分請求額）	入国月～36ヶ月（毎月請求額）	3号実習（毎月請求）	特定技能（毎月請求）
一括	介護職種	648,000	45,000	39,000	24,000
	一般職種	648,000	42,000	39,000	24,000
組合監理費	職種	内定から3ヶ月（一括分請求額）	入国月～36ヶ月（毎月請求額）	3号実習（毎月請求）	特定技能（毎月請求）
分割	介護職種	0	63,000	39,000	24,000
	一般職種	0	60,000	39,000	24,000

アイブリッジ協同組合は、技能実習制度を有効に活用頂く為、採用計画の段階から実習修了後の進路に至るまでをフルサポート致します。
技能実習生のスキルは「送出し国」によって高まる傾向にあり、「送出し国」と「送出し機関」の厳選が重要なポイントとなります。
その架け橋となる監理団体の選択とサポートがそれを担保する大きな決め手となります。

進路選択とまとめ（介護職のケース）



特定技能が更に注目を浴びて行く傾向にありますが、採用条件が簡便になる反面、確実に離職率が高まり、不安定な状態が拡大します。 そこで、 技能実習制度を有益に生かす為に、

※　3ヶ年を目途に技能実習生を中心とした採用計画を作成して育成と現場負荷軽減の両立を目指す。
※　法人として「優良な実習実施者」の取得を目指し、採用枠拡大と3号実習生輩出を優先に考える。
※　特定技能はあくまで補助的な採用と手段と考え、技能実習生を中心に介護福祉士国家資格取得を目標とした教育環境の整備を目指す。

以上が本制度活用の重要ポイントになります。

＼今月の実習生紹介／

MOE KYAW KYAW(モー チョウ チョウ)さん(ミャンマー出身)

株式会社とやまかいご　「看護小規模多機能型居宅介護施設 ぱるす」

介護の仕事は、要介護者と喜びを分かち合うことができ、誰かの役に立っていることを実感できる仕事だと思って介護の仕事を選びました。
介護護の仕事は、コミニュケーションを取ることも大事だと思いますが、日本語がうまく話せないのでに日々頑張っています。
日本に来る前、一番心配していたことも日本語です。

日本人の時間を守ることと、チームワークでお互いを助け合いながら仕事をしていることは、素晴らしいと思い私にとって勉強になるので日本に来て良かったと思います。

日本は、技術が高い国なので、技術に弱い私としては、ものの使い方などについて困りました。
将来は、介護福祉士になりたいですので、先ず日本語のレベルがアップする様にN2を目指して頑張っています。
日本で行きたい所は、「東京スカイツリー」です。
「富士山」にも登りたいです。
好きな食べ物は、「カレーライス」です。

アイブリッジ協同組合　LINE公式アカウント

- ☑ アイブリッジからのお知らせ
- ☑ アイブリッジ通信の配信
- ☑ 技能実習生の入国状況
- ☑ ミャンマー国内情報
- ☑ イベント案内　　などなど

LINE公式アカウント
@924wkeqs

アイブリッジ協同組合

所在地　：　〒103-0027
東京都中央区日本橋3-13-5　KDX日本橋313ビル9F
ＴＥＬ：　03-6228-4196　FAX:03-6228-4896
ＵＲＬ：　https://www.ibridge.or.jp　mail: info@ibridge.or.jp

2022年11月30日発行